

会 議 名	第3回赤坂地区地域情報誌作成支援及び印刷業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年2月10日（木）午前9時から午前10時10分まで
開 催 場 所	赤坂地区総合支所2階大会議室
委 員 員	出席者 5名 委員長 赤坂地区総合支所長 中島 博子 副委員長 赤坂地区総合支所協働推進課長 中島 由美子 委員 麻布地区総合支所協働推進課長 瀧澤 真一 委員 芝浦港南地区総合支所協働推進課長 野々山 哲 委員 企画経営部区長室長 横尾 恵理子 欠席者 なし
事 務 局	赤坂地区総合支所協働推進課地区政策担当 金子係長 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係 吉良、高梨、吉田
会 議 次 第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 A 事業者（30分間） 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配 付 資 料	資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査表（机上配付） 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配付） 資料4 第2回選考委員会議事録概要（案） 参考資料1 第一次審査集計結果

会議の結果及び主要な発言（メモ）

(発言者)	
事務局	<p>1 開会 配布資料の確認</p>
事務局	<p>2 第二次審査実施概要について 資料1、資料2に基づき説明</p>
事務局	<p>3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 (A 事業者 プレゼンテーション) 【概要】 タブロイド判の特徴を活かした写真配置や文字数の調整を行い、さらに各スポットのキーマンなど、背景にあるものを紹介する企画とした。町会、商店会、大使館等と協力・連携し外国人の参加を促進し、読者アンケートも積極的に紙面に活用していく。</p>
事務局	<p>それでは、質疑応答に入ります。</p>
D 委員	<p>誌面に取材先の情報は掲載しますか。また、過去に取材に同行したことはありますか。</p>
A 事業者	<p>二次元コード等を活用し掲載します。同行したことがあります。</p>
D 委員	<p>誌面に外国人向けの情報をどのように取り入れますか。</p>
A 事業者	<p>外国人の参加を促し、外国人の目線にたった施設紹介等を行います。</p>
D 委員	<p>外国人の参加促進について、現時点での何かつながりはありますか。また、外国人は1年間同じ方に参加してもらおうのか、毎号、人を変えるのか教えてください。</p>
A 事業者	<p>つながりはないが、補足資料に挙げた大使館は過去に取材等での面識があるので、依頼はしやすいです。外国人には、1年間継続して参加していただくイメージです。</p>
D 委員	<p>業務体制について、デザイナーは編集会議に参加しますか。</p>
A 事業者	<p>参加しませんが、社内に持ち帰って共有、作成します。</p>
D 委員	<p>区のHP等にアンケートを設置したことはありますか。</p>
A 事業者	<p>ありませんが、別の事業者が過去に行ったことがあると伺ったので、その手法を使えば可能かと思います。</p>
C 委員	<p>企画提案における「手作り感」を誌面にどう表現しますか。</p>
A 事業者	<p>原稿執筆者の情報を掲載します。また、編集委員が知っている地元ならではの情報を載せたり、委員自らが撮影した写真を使用します。</p>
C 委員	<p>初心者からベテランまで様々な編集委員の個性や特徴をどのように引き出し、サポートしますか。</p>
A 事業者	<p>原稿の書き方を具体的にアドバイスします。また、初心者には文字数が少ないコラムを任せたり、写真が得意な方には撮影を担当してもらいます。</p>
A 委員	<p>業務体制について、編集会議に参加するのはどなたですか。また、アシスタントのレベルや途中で変更になる可能性の有無について説明ください。</p>
A 事業者	<p>担当者とアシスタントの2名です。アシスタントは同業者で、同等レベルの知識や経験を有しており、港区にも詳しく、途中で変わることはありません。</p>

A 委員	これまで区の他事業を請け負ってきた実績を本業務にどのように活かしますか。
A 事業者	長年、区の業務に取り組んできたので、港区に土地勘もあり知り合いも多いです。その経験をもとに、編集委員をサポートします。
B 委員	提案以外に他に思いつく企画はありますか。
A 事業者	外国人目線で見えた赤坂・青山、地元の歴史や企業等の紹介、都電が運行していたなど高齢者が若いころのまちの様子を紹介する企画があります。
B 委員	地域の写真や情報等の提供者が赤坂地区にいますか。
A 事業者	町会、商店会、企業、地元の高齢者など知り合いが多くいます。
E 委員	誌面で紹介するにあたっての人選基準はなんですか。
A 事業者	各スポットの運営者等を掲載するのが一般的ですが、基本的に企画内容から人選します。
E 委員	コロナ禍における紙面づくりの工夫を教えてください。
A 事業者	取材時の人数調整や電話での取材、対面でも短時間でできる取材先を企画提案します。
	<審査終了⇒採点>
	4 第二次審査結果及び事業候補者の選考について
委員長	事務局から、採点結果の報告をお願いします。
事務局	A 事業者 第一次審査 642 点、第二次審査 347 点 合計して、989 点です。
委員長	採点結果の集計を受けて、各委員から講評をお願いします。
B 委員	質疑応答の際、これまでの経験を活かし自信をもって発言していたことや、実現性についても、町会等のつながりを活かした提案ができていました。将来的に外国人の参加を促すことを検討しており、読者を意識し、意見を反映する気持ちも見えました。
E 委員	港区の業務を請け負ってきた経験やつながりは評価でき、質疑応答にも即答するなどやる気も見えました。編集委員の能力を引き出す力も感じ取れました。
D 委員	これまでの実績を踏まえ、実現性は問題ないと思います。独自性・創造性について、赤坂地域の特性を活かした提案にもう少し工夫が必要です。複数年、継続して担えば、良い情報誌ができると思います。編集委員へのサポートも期待できると思います。
C 委員	区民目線に立った企画提案に魅力があり期待が持てます。編集委員にもスポットを当て、やる気や達成感を感じてもらおう提案もありました。質疑応答から協調性も問題ないと思います。
A 委員	地域理解はあります。独自性・創造性、発展性がいまいち感じ取れませんでした。実現性は今後期待したいです。協調性について、編集委員の特性を活かしていく柔軟性はあると思います。
委員長	講評を聞いたうえで、採点の変更がある場合は今行ってください。 (委員一同、異議なし)
委員長	審査の結果及び皆さんの講評から、A 事業者については、これまでの実績や経験を活かして編集委員をサポート、リードしながら地域情報誌の作成を任せられる委託事業者として決定してよろしいでしょうか。 (委員一同、異議なし)

委員長	それでは、A 事業者を赤坂地区地域情報誌作成支援及び印刷業務委託事業候補者として決定します。
委員長	5 その他 そのほかに何かありますか。
事務局	資料4について説明
委員長	6 閉会 (閉会の挨拶)